

反省記録

＜教育実習全体を通しての成果、反省と今後の課題＞

教育実習の手引き P.8の「教育実習評価の示す基準目標」に照らし合わせると、

(1) 学習指導に関して、

i) 基礎学力・知識：授業の回数を重ねることで、説明の言葉が自然と出てくるようになった。

「免疫」についての一般書を読むことで、正しい知識を得られた。

ii) 教材研究・工夫：「免疫」について正しい知識を学んだ後、それとどのように

生徒に分かりやすく伝えるのか という工夫が足りなかったと思う。

模型や実物、言葉の言い換え(=比喩)を扱うなどの工夫が考えられる。

iii) 指導態度・技術：生徒をあまり観察することが出来ず、生徒のつまづき

に気付くなど、生徒の意識に寄り添った指導をすることが出来なかった。

授業の始まりに本時の到達目標を伝える、最後に発問をして

生徒の理解度を確認するなどの工夫が考えられる。

(2) 生活指導に関して

i) 個別・集団指導：担当のクラス(中2-4)の朝拝・終礼時には

生徒がなかなか静かにならず、何度も怒鳴るなど手探りでの指導

となってしまった。これについては今後の課題として、ベテランの先生方が

どのように指導しているかを観察し、効果的な指導方法を検討したい。

ii) 児童・生徒へのかかわり：生徒とどのように関わり合えばよいのか、

i)と同様に手探りの状態が続いた。これも今後の課題として、

生徒への関わり方が上手な教師を参考にしながら、ボランティア活動

などを通して積極的に様々な生徒と関わりたい。

何よりも大切なのは、生徒に深い愛情・関心・期待をもつ

ことであり、さらにその愛情を態度で示すことが出来るようになること

が必要だと感じた。

iii) 教科外指導：軽音楽部と自然科学部生物班の部活動の見学

に行き、色んなアドバイスをしたが、少し中途半端だったように思う。

反省記録

ii) の「生徒との関わり方」をもっと学ぶ必要があると感じた。

(3) 実習態度に関して.

i) 勤務態度・熱意： 実習生の代表の仕事を行い、熱意を示すことが出来たと思う。

ii) 事務・実務能力： 授業で用いるプリントや学習指導案の完成が、
締め切りギリギリになってしまった。事前にもっとよく準備しておくべきだった。今後は早め早めに行動することを心がけたい。

iii) レポートなどの提出物： ii) の項目と同様に、ギリギリになってしまった日もあった。かかる時間を逆算しながら、計画的に行動出来るようにしなければならない。

iv) 教員育の視野： 聖徳太子様への尊敬の念を忘れず、また、
理事会の統一行動理念である「絶えず真摯なれ」を常に意識しながら、教員実習を行うことが出来たと思う。

(全体を通して)

難しいことを分かりやすく伝えるために様々な工夫を凝らす教師や、
生徒に情一杯の愛情を注ぐ教師の姿を見て、改めて教師という仕事の
やりがい・奥深さを感じる事が出来、プロの教師になるという決意を
一段と高めることが出来た。常に生徒の立場に立ち、生徒の為に一生懸命
になれる教師を目指して、今後も努力を重ねたい。

総評

教師になるという確固とした決意をもって臨んだ実習、多くのことを学べたと思います。初心を忘れることなく、これからも研鑽を積み、今回の実習で学んだことを生かして未来を担う子供達のおよき指導者となることを期待しています。

指導教諭